

Support

新潟市教育委員会
学校支援課だより

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

No. 6

平成21年9月18日

編集・発行

学校支援課 広報担当

「生きる力」をはぐくむ 総合的な学習の時間の充実のために

指導計画作成資料ができました！

新学習指導要領が平成20年3月に告示され、小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から完全実施となります。

基本理念は、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことであり、現行の理念を継承しています。この「生きる力」を直接的にはぐくむことが期待されているのは総合的な学習の時間です。

新潟市教育委員会では、「新潟市教育ビジョン」に基づき、「新潟市総合的な学習の時間検討委員会」を設置し、「生きる力」をはぐくむ総合的な学習の時間の在り方を検討してきました。その検討内容を踏まえ、政令市新潟の特色を生かした総合的な学習の時間を創造するために、指導計画作成資料を作成しました。右の写真はその表紙です。

今後、本誌を活用し、各学校の総合的な学習の時間がさらに充実していくことを期待しています。

指導計画作成資料

「生きる力」をはぐくむ 総合的な学習の時間 を創ろう！

— 総合的な学習の時間の充実のために —



平成 21 年 3 月
新潟市教育委員会学校支援課

指導計画作成資料の特徴！

- 「第1部 新学習指導要領について」、「第2部 指導計画の作成について」、「第3部 指導計画・様式例（1～5）の記述について」、「資料」で構成されています。
- 第1部で、新学習指導要領における総合的な学習の時間の改訂のポイントを示し、それを基に、第2部の指導計画作成のポイントを理解できるようにしています。
- 第3部では、第1、2部を踏まえて、学校支援課ホームページに掲載されている様式例1～5を基に、具体的な記述の方法についてまとめました。
- 資料では、各学校において定める内容の参考資料として、「内容系列表」（新潟市教育委員会試案）を作成し、小学校3年生から中学校3年生までの内容とその系列を示しました。その中には政令市新潟の特色を生かした内容も含まれています。

新潟市立高志中等教育学校

こころざし かんよう

「志の涵養」＝「知性と人間性にあふれる高い志をもった次代のリーダーとなる生徒を、6年間という時間をかけ一貫した教育によりていねいに育てる」を教育目標に、「自己を鍛える生徒」「社会に生きる生徒」「未来を創る生徒」の育成を目指す新潟市立高志中等教育学校では、第1期生の半年間の学校生活が過ぎました。生徒たちは、どのような学校生活を送り、どのような感想をもっているのでしょうか。夏休み明けの高志中等教育学校におじゃましました。



1年生120人は、新潟市の全8区、54校から集まっています。「豊かな人間性」を育むために、学年や校内の仲間、校外の人たちとのかかわりを大切にした行事や活動が重視されています。

左の写真は、入学直後に行われた「警梯合宿」の1コマです。1泊2日の活動をとおして、仲間とのかかわりが生まれました。

1年生のクラスはゆとりの30人編制です。仲間とのかかわりを深めながら、基礎・基本を確実に身に付ける学習と、自分で解決する中で考える力を高めていく学習で、バランスのとれた学力を身に付けることを目指しています。



英語と数学は、先生2人で、1クラスを指導します。生徒からも、勉強が分かりやすいと好評です。

学んだことを定着させるための家庭学習への取組

学習だより

2009年 5月29日(金) 第8号



週末課題 5/30～31

学習だよりには、「学習お悩み相談室」の「のびる君とのびない君」「のびる君物語」など、特色ある内容が掲載されます。先生方が、学習に関して、直接相談に乗ってくれたり、お便りで悩みに答えてくれたりします。

その結果、中間考査前には、1年生の平均家庭学習時間は、平日で2.5時間以上、休日で4.0時間以上となっています。

	課題内容(取り組み方)	目安時間	
国語	「中学必修テキスト」P14～P21「ふっつと立ち止まって」丸付けをし、誤答を赤ペンで修正して提出。	100分 (1日90分)	
	〇ウイニング P34 ※丸付け、間違いない箇所を提出。授業で使用するプリントの5～10を終わらせていない人は、最後まで解いておきましょう。	100分 (1日90分)	
英語	〇「動詞」のプリント1枚 英語・英訳の下に日本語で意味を書き、英単語は10個以上、英訳は7個以上練習する。	100分	6月1日(月)
	※問題集のテキストをやるので、足りない場合は...		
理科	...	30分	
	...	100分 (1日15分)	

学習だよりで、課題内容と取り組み方を明示しています。

私は、夢を叶えるために高志中等教育学校に入学しました。一中路一入学してすぐの警梯合宿でたくさんの友達をつくることができ、毎日楽しく学校生活を送っています。

勉強については、家庭学習への取り組み方を一から教えていただいたので、家での学習はとてもスムーズにしています。授業でも、先生方が一生懸命教えてくれるので、「私も一生懸命やろう!」という気持ちにさせられます。
～生徒のメッセージより～



高い志を育む「総合的な学習の時間」

総合1

テーマにそって調べたり課題を解決したりする学習

「追究する力」を高める

学年ごとのテーマにそって、調査や見学、聞き取りなどを行い、レポートにまとめます。
1年生は、4つのコースに分かれて政令市新潟について学びました。

- ① 国体をとおして新潟の変化を知る。
- ② 競技場マップを作成し、国体に来られる方々に新潟市の良さをPRする。
- ③ トキめき新潟大会をとおして福祉を考える。
- ④ トキめき新潟国体をとおしてエコを考える。



総合2

本物体験をとおして
自分の将来を考える学習

「自分で進路を決める力」を高める

総合2では、成長に合わせて「プロフェショナルに学ぶ」と「キャリアウィーク」を実施しています。
「プロフェショナルに学ぶ」では、トキめき新潟国体・新潟大会の実行委員会事務局の方や競技監督や候補選手ら5人の講師による講演会が行われ、最新の競技事情や、心構えを学びました。

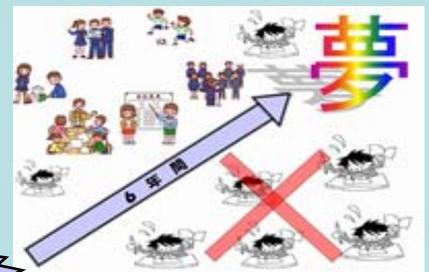
国体実行委員の講師から「中越沖地震など、災害時にお世話になった人への感謝を示す目的がある」との今大会の趣旨説明に、生徒の一人は、「1巡目との大会趣旨の違いが分かり、新潟市民が今後どのように他県への感謝の気持ちを表していくのか学びたい」との感想をもちました。



「伸びしろ」のある生徒

- ・ 学ぶ目的がはっきりしている。
- ・ 学ぶことの喜びや楽しさを味わった経験がある。
- ・ 「基礎・基本」と「自ら考える力」が身に付いている。
- ・ 家庭学習の習慣があり、学習に時間をかけるのを苦にしない。
- ・ 自己肯定感、自己効力感をもっている。
- ・ 学級や学年は居心地がよいと感じている。

6年間で、伸びしろのある生徒を育てるため、職員が一丸となって取り組んでいます。



「知性」「豊かな人間性」「高い志」のバランスのとれた教育活動の中で、生き生きと学ぶ生徒の姿が印象的でした。



新小学校に向けて始動

秋葉区荻川地区では、市之瀬小学校と結小学校の約半分（結小学校区内の内、信越線より西側と車場1・2の地域）が統合され新小学校として平成23年4月開校します。

その新小学校開校に向けた準備がスタートしました。

今年の6月「荻川地区新小学校準備会」が発足し、新小学校開校に必要なことを話し合っています。校名、校旗、校章、校歌、さらには備品や通学路等について、市教育委員会の担当課の方々を交えながら協議をしています。その基本姿勢は、地域中心で考えていくということで、学校と地域が一体となって新学校発足に向けて準備を進めています。その一例として校名も、公募によって決めるそうです。

一番の課題となるのが、新学校が発足するときに両校の教職員や児童が一つの学校として違和感なくしっくりした雰囲気では児童と教職員の交流を積極的に進めようとしています。例えば、自然教室などの行事を合同で実施することや職員研修の共同開催について検討しています。学校運営の基本となる教育目標や教育ビジョンについても両校職員が一緒になって話し合っています。平成23年4月にどんな学校がスタートするか楽しみです。

（文責 秋葉区担当指導主事 本多 博行）



区担当のページ

味方中学校「体験的食育活動」

～『弁当の日』プロジェクトin味方から見てきたもの～

「生きる力」の向上とコミュニケーションの活性化のため、生徒自身の手で、食材の調達、調理、後片付けまで行う。調理技術の習得、食の安全、地産地消、食事内容の改善、両親や祖父母とのコミュニケーション増などをねらっている。

主な取組内容(概略)

- ◎ 食育講演会の実施（「食品添加物の神様」とまで言われる講師を招聘）
- ◎ 地産地消献立の調理実習を
春と秋に全6回実施。
地区食生活改善推進委員が
毎回10名以上指導にあたる
- ◎ 農作物生産現場訪問
- ◎ 年間8回、「弁当の日」実施
- ◎ 「弁当の日」提唱者の講演会



現代は、「産業は、一次産業が衰退。食生活は、既成の惣菜に依存。家族は世代間の考え方の違いで危うくなっている。」とされています。「青少年が夢と希望を持って自立した大人に成長するには困難な時代・・・」の課題解決に大きな期待もてる取組を紹介しました。生徒の「笑顔」が印象的でした。

（文責 南区担当指導主事 渡部文弘）